

2019 年度

事業報告書

学校法人 埼玉福祉学園

# 学校法人 埼玉福祉学園

## 1. 法人の概要

### ①法人の沿革

- 1997年3月 埼玉県知事認可により学校法人 埼玉福祉学園 設立  
4月 埼玉福祉専門学校 介護福祉科・社会福祉科設置  
厚生大臣指定 介護福祉士養成校・社会福祉主事養成機関認可
- 2002年3月 第2校舎完成
- 2004年4月 介護福祉科Ⅱ部（夜間部）設置
- 2007年3月 第3校舎完成  
児童福祉科設置
- 2009年4月 社会福祉士養成科設置  
厚生労働大臣 社会福祉士養成機関認可  
キャリアデザイン・コミュニケーション科設置
- 2010年4月 埼玉ベルエポック製菓専門学校 開校  
厚生労働大臣指定 製菓衛生師養成施設認可
- 2011年4月 こども福祉科Ⅱ部（夜間部）設置
- 2011年10月 埼玉ベルエポック製菓専門学校  
パティシエ科Ⅱ部（夜間部）設置  
カフェ・スイーツ科（夜間部）設置  
製菓衛生師養成施設通信課程認可
- 2013年3月 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校名称変更（寄付行為の変更含）  
カフェ・スイーツ科（昼間部）設置  
調理師科設置  
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校第2校舎完成
- 2017年4月 埼玉福祉・保育専門学校名称変更  
厚生大臣指定 指定保育士養成施設認可
- 2019年4月 パティシエ科から製菓衛生師科に名称変更  
パティシエ科（新課程）設置  
カフェ・スイーツ科をカフェ総合科1年制に名称変更
- 2019年9月 大学等における修学の支援に関する法律による修学支援の対象機関になる

## ②組織目的

埼玉県で生まれ・育ち・県内で学んで、埼玉県の福祉・食の安心安全に貢献し、子供から高齢者まで幅広い年代の方々の人生を豊かにする人材を養成します。

そのために、3つの建学の理念のもと、4つの信頼、特に県内の高等学校、地元の業界（福祉・医療・児童・製菓・調理分野）・行政の要請に応え、産官学共同実習などを企画運営し現場力を身につけ、常に一番に指名される学園となります。

## ③運営方針

- ・埼玉県内の多様な顧客に個別対応できる教育力・広報力強化を適正な規模・予算で実施する。
- ・埼玉県のすべての顧客に最高のサービスを提供できるプロ教育集団組織となる。
- ・埼玉県内の施設及び行政の情報を収集し、時代の変化と地域の要請に答えられる学校・学科のイノベーションを実施する。

## ④目標と結果（広報・教育・就職の結果報告）

※2020年3月31日現在

学校名	広報				教育		就職	
	入学者定員	入学者目標	入学者数	入学者定員充足率	D.O.率目標	D.O.率	就職率	就職達成月
埼玉福祉・保育専門学校	240	195	195	81.3%	3.7%	3.1%	95.9%	5月
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	200	170	180	85.0%	4.1%	3.3%	100%	3月

## ⑤実行方針

### 広報

- ・早期化、個別化する県内の進路希望者と同分野隣接分野の競合対策として、本学園の専門学校でしか学べない教育コンテンツや業界との連携教育を入学希望者に伝えることを広報の主軸に置き、広報業務と学校・学科のイノベーション活動を教職員全員が最優先に実行する。  
個別対応力の強化は定期的な広報研修、個別状況管理の徹底、等「ひとり一人にあわせた広報活動」を実施することでイベント参加者からの出願率をアップする。また、福祉保育分野校は医療分野をはじめ他分野にも興味を持っている層にまで顧客ターゲットを拡大。イベント参加者増戦略強化し入学目標を達成する。
- ・卒業生の活躍、『やりがいをもって専門分野で働き続けている姿』や実際の労働環境労働事情を数字等で入学希望者や保護者、高校教員に伝え、福祉・保育・食分野の間違った職業理解の払拭を関連職能団体や業界と連携し活動する。
- ・成績、長欠、休学、退学等を出身高校に報告し、県内の高等学校・通信高校

- との関連強化を図る。製菓調理分野では、自ら製造した食品を母校の教員に評価していただく母校訪問を実施し教育を具体的に広報する取組を実施する。
- ・保護者会、学費・奨学金説明会を充実し学習環境のサポート体制を具体的にご案内し安心感を高める。

## 教育

- ・学生が主体的に学べる実技、演習授業の充実を始め、アクティブラーニングや映像・動画を積極的に導入し、すべての授業で学生参加型へ授業への改革を随時実施する。
- ・ひとり一人にあわせた教育をテーマに個別対応力のできる教授力の向上を目指し、オープン授業、授業アンケート、新人講師のOJT、などを実施。また、入学時より、学生個々の状況を把握し（サポートフレームシート）、個別に年間の課題やフォロー体制を計画実行し担任との定期面談実施。サポートシステム、セーフティネットを強化、安心して学べる環境づくりを推進しD0を防止する。
- ・国家資格については入学前から卒業までキャリア教育と連動した国家試験対策フロー型カリキュラムを構築し合格率100%を目指す。
- ・県内の施設・業界・行政とコラボレーションし、課題や問題を解決する能力を実践教育も中で身につける。また、地域のコミュニティの仕組みを理解する。

## 就職

- ・ひとり一人にあわせた就職活動を担任とキャリアセンターで共有し、個別就職活動プランの作成・実施する。その経過や調整を就職担当者会議で実施する。
- ・就職後1年以内の離職率0%を掲げ、内定者訪問を6月までに全て実施し、就職後の問題把握と転職を含めた、後フォローを実施し業界との信頼を高めると共に継続した関係作りをさらに強化する。

## ⑥法人の設置する学校学科

### 埼玉福祉・保育専門学校

社会福祉専門課程 介護福祉士科  
介護福祉科士Ⅱ部（夜間課程）  
社会福祉士科  
保育士科  
こども福祉科  
こども福祉科Ⅱ（夜間課程）  
社会福祉士養成科（一般養成課程 夜間課程）  
キャリアデザイン・コミュニケーション科

### 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

衛生専門課程      パティシエ科  
 製菓衛生師科  
 調理師科  
 カフェ総合科1年制  
 パティシエ科Ⅱ（夜間課程） ※2017年度募集停止  
 カフェ・スイーツ&フード科(夜間課程)※2017年度募集停止

⑦学生数

埼玉福祉・保育専門学校 ※2019年5月1日現在

学科名	入学定員	総定員	1年生	2年生	3年生	合計	入学定員充足率	定員充足率
介護福祉士科	40	120	50	43	—	93	125.0%	77.5%
社会福祉士科	0	80	0	24	26	50	—	62.5%
保育士科	40	80	49	41	—	90	122.5%	112.5%
こども福祉科Ⅱ部	0	80	0	14	21	35	—	43.8%
社会福祉士養成科	40	40	29	—	—	29	72.5%	72.5%
キャリアデザ <sup>ン</sup> インコミュニケーション科	40	40	29	—	—	29	72.5%	72.5%
計	160	440	157	122	47	326	98.1%	74.1%

埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

学科名	入学定員	総定員	1年生	2年生	3年生	合計	入学定員充足率	定員充足率
パティシエ科	40	40	33	—	—	33	82.5%	82.5%
製菓衛生師科（2年生はパティシエ科）	40	80	17	40	—	57	42.5%	71.3%
調理師科	80	160	84	44	—	128	105.0%	80.0%
カフェ総合科1年制	40	40	27	—	—	27	67.5%	67.5%
計	200	320	161	84	0	245	80.5%	76.6%

通信課程 学生数 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

学科名	入学定員	総定員	1年生	2年生	3年生	合計	入学定員充足率	定員充足率
製菓衛生士	72	72	61	—	—	61	—	84.7%
計	72	72	61	0	0	61	—	84.7%

⑧役員・教職員の概要

<役員>理事6名・監事2名（2019年5月1日現在）

理事長    中村 道雄  
 理事      青木 猛正  
 理事      大谷 源一  
 理事      大野 昭弘  
 理事      小原 正司  
 理事      岩原 辰夫  
 監事      榎本 雅一  
 監事      寺田 宗功

評議員（13名）

評議員	青木	猛正
評議員	大谷	源一
評議員	飯塚	洋一
評議員	朝武	純子
評議員	中村	道雄
評議員	溝上	俊亮
評議員	栗原	法子
評議員	石田	洋一
評議員	古島	昭博
評議員	土田	雅彦
評議員	浮舟	邦彦
評議員	平田	豪成
評議員	小川	昭久

<教職員>（2019年5月1日現在）

埼玉福祉・保育専門学校

専任教員	26名
兼任教員	55名
専任職員	7名

埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

専任教員	20名
兼任教員	33名
専任職員	20名

⑨施設・設備の状況

埼玉福祉・保育専門学校

- ・第1校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町 3-88-2  
校地 301.22 m<sup>2</sup> 校舎 1,119.55 m<sup>2</sup>
- ・第2校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町 42-8  
校地 335.16 m<sup>2</sup> 校舎 1,167.07 m<sup>2</sup>

埼玉ベルエポック製菓調理専門学校

- ・第1校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町 3-25  
校地 239.96 m<sup>2</sup> 校舎 790.21 m<sup>2</sup>
- ・第2校舎 埼玉県さいたま市大宮区仲町 3-100-2  
校地 309.85 m<sup>2</sup> 校舎 1,019.20 m<sup>2</sup>

⑩理事会・評議員会の開催状況

理事会

	日時	参加者	議案	備考
第1回	2019年 5月29日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度事業報告の件</li> <li>・2018年度決算報告承認の件</li> <li>・評議員変更に関する件</li> </ul>	
第2回	2019年 5月29日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉福祉・保育専門学校の学則変更について</li> </ul>	
第3回	2019年 12月13日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度上半期事業報告および下半期事業計画の件</li> <li>・2019年度上半期収支報告および2019年度補正予算承認の件</li> <li>・埼玉福祉・保育専門学校学則変更に関する件</li> <li>・学校法人東京滋慶学園との法人合併の件</li> <li>・私立学校法一部改正に伴う寄附行為変更に関する件</li> <li>・海外研修及び海外出張に対する危機管理コンサルティング契約について</li> </ul>	
第4回	2020年 3月11日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・監事任期満了につき選任の件</li> <li>・評議員任期満了につき選任の件</li> </ul>	
第5回	2020年 3月11日	8名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度事業現況報告に関する件</li> <li>・2019年度補正予算承認に関する件</li> <li>・2020年度事業計画承認に関する件</li> <li>・2020年度収支予算承認に関する件</li> <li>・埼玉福祉・保育専門学校の学則変更に関する件</li> <li>・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校の学則変更に関する件</li> <li>・役員に対する報酬などの支給の基準について</li> <li>・理事の兼務について</li> <li>・理事任期満了につき選任の件</li> <li>・評議員任期満了につき選任の件</li> <li>・理事長改選の件</li> </ul>	

評議員会

	日時	参加者	議案	備考
第1回	2019 5月29日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018年度事業報告の件</li> <li>・2018年度決算報告承認の件</li> <li>・埼玉福祉・保育専門学校の学則変更について</li> </ul>	
第2回	2019 12月13日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度上半期事業報告および下半期事業計画の件</li> <li>・2019年度上半期収支報告および2019年度補正予算承認の件</li> <li>・埼玉福祉・保育専門学校学則変更に関する件</li> <li>・学校法人東京滋慶学園との法人合併の件</li> <li>・私立学校法一部改正に伴う寄附行為変更に関する件</li> <li>・海外研修及び海外出張に対する危機管理コンサルティング契約について</li> </ul>	
第3回	2020年 3月11日	15名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度事業現況報告に関する件</li> <li>・2019年度補正予算承認に関する件</li> <li>・2020年度事業計画承認に関する件</li> <li>・2020年度収支予算承認に関する件</li> <li>・埼玉福祉・保育専門学校の学則変更に関する件</li> <li>・埼玉ベルエポック製菓調理専門学校の学則変更に関する件</li> <li>・役員に対する報酬などの支給の基準について</li> <li>・理事任期満了につき選任の件</li> <li>・監事任期満了につき選任の件</li> <li>・評議員任期満了につき選任の件</li> </ul>	



⑪全体総括事項

学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の開催状況

	学校関係者評価委員会	教育課程編成委員会	
		第1回	第2回
埼玉福祉・保育専門学校	6月27日	6月27日	11月7日
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	6月28日	6月28日	10月25日

消防避難訓練・防災避難訓練、健康診断の実施状況

	消防避難訓練 防災避難訓練	健康診断	
		学生	教職員
埼玉福祉・保育専門学校	5月8日	4月3日	7月3～6日
埼玉ベルエポック製菓調理専門学校	5月8日	4月3日	7月3～6日

# 2019年度 埼玉福祉・保育専門学校 事業報告

## 1. 全体総括

広報：入学目標 195 名に対して、実績 195 名。

教育：退学目標 12 名（3.7%）に対して、実績 10（3.1%）。

就職：就職率目標 100%に対して、実績 95.9%。

### ①広報活動状況

#### ■実行方針

- 1) 学校コンセプトの見える化（“4つのつながり”をWEBで可視化する）
- 2) 学生プレスの組織化（発信力、企画力、プレゼン力のある学生プレスを組織化する）
- 3) 言語聴覚士の認知拡大と一人ひとりに合わせた広報活動の確立

新設学科（言語聴覚士科、同Ⅱ部、保育士科夜間主コース）もあり、入学者は昨年比で40名増となった。介護福祉士科、言語聴覚士科、保育士科の昼間部3学科で定員を満了したものの、夜間部の3学科は定員を満了することはできなかった。

後半期に進路決定に動き出す大学生や社会人を対象にした「キャリアチェンジ」や「ワーク&スタディ制度」の説明会を中心に、集客イベントに注力したが、昼間部と夜間部の差別化について課題を残す結果となった。

### ②教育活動状況

教育目標の退学者数（率）、進級率は、昨年比で大幅に改善することができた。

1年生進級率            90.9%（90/99）    目標 91.9%

全進級生進級率        92.7%（127/137） 目標 93.4%

#### ■2019年度教育方針

1. クラス作り（クラスマネジメントの強化）

導入研修については、相互的支援関係の構築を目的としたプログラムを導入した。また、全体指導、個別対応の見直しも図り、学科を越えた学内・外の資源の活用（他部署・SSC・業界）するように努めた。

2. 授業改革 「学生が主体的に学べる授業」

産学連携授業を通して、目指す将来像を明確にし、常に意識しながら学ぶ授業を開講。介護福祉士科では、地域包括支援センターと協働で「認知症カフェ」開設。保育士科では、「乳児保育」の授業にて、小規模保育所25ヶ所と連携し、定点観察を目的とした月1回実習を導入した。その他、年間を通じて担任OJTを実施。教育指導要領、担任マニュアル等を活用しながら、クラス運営の基本を共有することで、担任力（問題発見力、解決力）が強化された。

### ③就職活動状況

#### ■2019年度の施策と結果

- 1) 就職支援研修を実施し、就職支援を教務職員全員でできるようにする。  
(業務システム一元管理)  
年度当初の説明から定着せず、スタッフも追いきれなかった。利用し易い仕組みづくりに課題が残った。
  - 2) 各学科の実習後等に模擬面接会など就職対策全体指導の機会をつくる。  
それぞれの担任授業等に学科ニーズに合わせた就職全体指導ができた。  
担任の支援もあり合格率改善となった。一方で選り好みの学生のこだわり条件に翻弄された。
  - 3) 問い合わせ求人・実習先求人など学校求人票で預かり求人精度をあげる。  
年度途中に施行された介護福祉士特定処遇改善加算などを明示することができた。  
求人件数においても対前年 120%となった。
  - 4) キャリアセンターは教務兼務の中でも攻略業種の開拓と産学連携・同窓会連携に注力できる体制づくりをする。  
全学科の教務に関わることで派生的なニーズを拾うことができた。特に言語聴覚士科開設に伴い、病院グループとの関係構築ができた。年度途中にキャリアセンター職員の退職もあり、後半は事務業務に追われ、開拓まで及ばなかった。
- 今年度は就職学年学科が 8 学科と過去最高の学科数となった。また、卒業生に占める既卒者は 52.4%と始めて新卒者を上回り、その中には委託訓練生や留学生も含んであり多様な学生に対する就職活動であったが、当初の目標を達成することが出来た。

## 2. 個別報告

### ①特色ある事業活動報告

#### ・実習指導者懇談会（2019年6月）

学生の実習先の実習指導者に来校いただき、実習内容について共に学ぶ勉強会を実施。学科ごとの分科会ではグループワークを実施し、職員と施設職員で意見交換を行った。介護福祉士科では、学生の課題を互いに共有でき、施設都合での実習中止はなかった。ほか実習外の授業連携（専攻におけるフィールドワーク）など広がりを見せることができた。

#### ・大宮アルディージャ手話応援（2019年6月）

サッカーJ2クラブ 大宮アルディージャの応援を聾啞の方々と実施。さいたま市の聾啞関係学校・団体と共同実施。学生は、手話の応援を聾啞者と聾啞者以外の方々に対してリードをとるなど運営の要となり、障害と社会生活、社会参加について実践的に学ぶと共に関係団体から好評を得た。

- ・羽生市社会福祉協議会共同バスツアー（2019年9月・10月）  
羽生市社会福祉協議会及び羽生市施設協会と共同し保育、児童養護、障害者、高齢者施設の見学会を共同企画実施。バスは羽生市が運行。学生の学びの場となった。
- ・学園祭開催（2019年10月）  
各学科の学びを活かし、子どもから高齢者までが参加できるブースを企画し、地域交流の場となり、学生にとっては実践の場、地域の方々には学校を知って頂く良い機会となった。
- ・一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会主催 第12回埼玉県高齢者福祉研究大会（2019年12月）参加。自治会と共同し高齢者の集う会を介護予防、認知症予防やつどいの場をコンセプトに企画運営や新しい介護予防の提案、小規模多機能型施設内でのケアプランの取り組みを発表し、地域包括ケアの提案、個別ケアの視点から問題解決技法を使った発表は参加者から好評価を得た。また、基調講演内のトークセッションでは、学生代表として当校の学生が選出され、介護福祉士を目指す学生の視点から介護業界への夢、要望、現状の課題等 意見を述べて会場に課題提示をした。

#### その他の特色ある事業活動報告

- ・学生サークルとさいたまの地域サークルで活動する「SCWクワイヤー」は、卒業生が在職している高齢者・障害者でのミニコンサートとアートフルゆめまつり、年間10回以上の公演を行った。
- ・子育て支援活動「エンゼルキッズ」を毎週金曜日実施。また、知的障害児・発達障害等療育を必要とする親子向けに隔月で療育サロンを実施。専門の講師と共に学生が参加し、高度な実習を展開した。2018度より、発達障害等を疑われる児童向けの放課後の居場所作りを毎週火曜日に実施。学生が地域の方々の声を拾い、学生が主体となって、企画・運営を開始し、福祉の実践教育活動となっている。

#### ② 教職員研修

新入職者研修 3・4月実施  
 OJT研修 3・4・9月実施  
 教職員研修 12, 1, 3月実施  
 FD（マイクロ研修）レベル研修 4月  
 FD（マイクロ研修）フォローアップ研修 6月  
 FD（ミドル研修）レベル研修 6月  
 国家試験対策研修会 7月実施

F D (マクロ研修) レベル研修 9月実施  
カウンセリング研修 10月実施  
フォローアップ研修 11月実施  
マネジメント研修 10月実施  
広報力大会 10月実施  
滋慶教育科学学会 12月実施  
広報研修 1月実施  
学内広報研修 年4回実施  
学内担任研修 年6回実施

### ③ 総務・法務・リスクマネジメント

学費個別相談会・学費返金相談会の実施

個人情報管理責任者、個人情報取扱責任者研修・更新研修の実施 (JPAC)

避難訓練、防災訓練の実施 (2019年5月)

健康診断の実施 (学生：2019年4月 教職員：2019年7月)

AED取り扱い研修

### ④ 式典

入学式 4月12日(金) 両国国技館 入学生 155名

卒業式 3月19日(金) 学内 卒業生 187名

### ⑤ 学生活動

- ・地域清掃を授業の一環で実施。
- ・大宮区主催「アートフル夢まつり」のイベントステージを学生が企画運営。
- ・さいたま市市民イベント「ふれあいフェア」と駄菓子屋学校に学生が運営者として参加。
- ・さいたま国際マラソン給水ボランティアに学生が参加。国内外2万人の障害者を含むランナーに給水と声かけを実施。

### ⑥ 就職支援活動について (決起大会、業界模擬面接会などの実施状況報告)

- ・OBOG 就職相談会 (2019年5月)

卒業生による学内就職相談会を実施。就職学年150名が参加した。また、相談会や職種・分野座談会をとおして卒業生による真実の現場の話は、具体性があり、参加者に納得感と共に将来の不安や迷いに答える結果となった。就職相談会に入学希望者やその両親数名参加し福祉保育業界のネガティブ情報を払拭し出願に大きく寄与した。

- ・学内採用合同ガイダンス (介護・介護Ⅱ・社会・養成・保育・こども・こどもⅡ)

(8月) 埼玉福祉・保育専門学校第1校舎

- ・ 埼玉県児童養護協会合同説明会（保育・こども・こどもⅡ・社会）  
（9月）埼玉福祉・保育専門学校第1校舎

⑦ 各種資格試験合格率

資格名	受験者数	合格者数	合格率
介護福祉士	41	40	98%
保育士	60	60	100%
JESC 認定カウンセラー（介護・保育）	118	68	58%
生きがい情報士（介護・社会）	63	63	100%
社会福祉士（新卒のみ）	28	27	96%
社会福祉士（実務1年） ※対象：2019年3月卒業生	12	3	25%
精神保健福祉士（実務1年） ※対象：2019年3月卒業生	4	2	50%

⑧ 海外研修・留学

学科名	研修先	期間	参加人数
介護福祉士科 社会福祉科	スウェーデン	11/10～11/16	4名
保育士科	デンマーク	11/30～12/6	3名

各学科で国内国際教育の実施

⑨ 同窓会・卒業教育

- ・ 介護福祉士科卒業生、社会福祉科卒業生・社会福祉士養成科卒業生に対して介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士合格者向けに国家試験合格祝賀会を実施。（6月）
- ・ 2月開催予定だった同窓会は新型コロナウイルス感染予防のため中止。

⑩ 学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会

- ・ 学校関係者評価委員会 2019年6月27日
- ・ 教育課程編成委員会 第1回 2019年6月27日  
第2回 2019年11月7日

# 2019年度 埼玉ベルエポック製菓調理専門学校 事業報告

## 1. 全体総括

広報：入学目標 170 名に対して実績 180 名の入学で目標達成。

教育：退学目標 10 名（4.1%）に対して実績 8 名（3.3%）。で目標達成。

就職：就職率目標 100%に対して実績 100%（94/94）で目標達成。

### ① 広報活動状況

2020 年度入学生向け広報活動では、「まだ見たことのないあたらしい「おいしい」をつくろう！」をキャッチに広報活動を実践。

- ・コアターゲット（中心顧客）を埼玉県内在中の高校新卒の女子で、資格は取得したいが自分の好きなことや興味あることに集中する「好きエンジョイ＋真面目」型で一人ひとりのサポートが必要な層に絞った。
- ・2019 年度広報から職業実践専門課程での業界からの意見、及び受験生のニーズなども考慮し、パティシエ科については、国家資格取得を目指す「製菓衛生師科」と実習を中心とした「パティシエ科」へと分割。また、調理師科においては製菓と調理を両方学べる「製菓調理」の専攻を加えて学びの幅を広げ、さらにカフェ・スイーツ科においてはカフェ分野を総合的に学べるカリキュラムへと変更したのと併せて「カフェ総合科 1 年制」という学科名称へ変更をした。

### ② 教育活動状況

- ・教育では、「学生は辞めないのが当たり前」という意識が教職員・講師の間で共通認識し、情報を共有することで、在校生の問題発見⇒問題の特定⇒対策立案⇒実行⇒チェックまでのサイクルをスピーディに実施。

多様化する学生の層に対応仕切れない部分も多かったが、特に個別での支援が必要となる学生に対しては十分なサポートを強化した結果、退学者目標（10 名）に対し 8 名の退学者で終了し、目標達成することができた。

- ・国家試験「製菓衛生師」の結果はパティシエ科 42 名が受験し 39 名合格（93%）だった。100%合格（在籍者全員）を実現できるよう、基礎から受験対策まで約 1 年半のフロー型カリキュラムの構築、そして、ひとり一人に、個別対応・個別指導体制を確立することができた。

### ③ 就職活動状況

- ・2019 年度は卒業対象学科が 3 学科であり 94 名が就職希望し、3 月 31 日までに 94 名全員が内定。在学中におこなっていた離職防止の取り組みを卒業後も継続する。

#### ④ その他

- ・卒業制作発表会の充実を図るために業界から 12 名の審査員を招聘。業界と共に学生を育てる、また、地域と共に学生を育てる実践の場所となっている。

## 2. 個別報告

### ①特色ある事業活動報告

- ・埼玉県洋菓子協会の技術専門部長をはじめ、クープドモンド国内大会入賞者等の現役パティシエを招聘して、製菓実技とコンテスト対策実習を実施。
- ・パティシエ科 1 年生の「ビストロベル（学内店舗実習）」を 1 年生の集大成として 4 回実施（9 月、12 月）。学生のみで構成されるチームで、販売する製菓の企画、運営を実施。近隣・保護者の方々、延べ 1,000 名以上のお客様が訪れ、製造の技術、サービスマインドの向上と問題解決能力を高めるイベントとなった。
- ・パティシエ科 2 年生は後期より製菓販売実習「ビストロベル（学内店舗実習）」を 4 回実施。
- ・調理師科 1 年生でも調理実習の一環として学生レストラン「ビストロベル」を年間 2 回実施。
- ・技能五輪全国大会に調理師科 2 名の埼玉県代表として出場。2019 年度より技能五輪は、両学科とも 1 年生の指導を始めている。
- ・全国 8 都市 9 校の製菓学校によって実施されるコンテスト「クープジケイ」を神戸製菓専門学校で実施。審査員の方は、クープドモンド国際審判員や日本チームの団長をされた柳先生をはじめ、日本を代表する方々にお越しいただいた。審査方法もクープドモンドに合わせた世界基準の本格的なコンテストになっており、プロとしての技術そして、マインドを育む大会となっている。本校を代表した学生 2 名は見事「審査員特別賞」を受賞。
- ・カフェ総合科においては卒業制作の一環で 2 チームが業界から商品化の機会を与えてもらったが、新型コロナウイルスの影響で、中止となった。

### その他の特色ある事業活動報告

- ・官学連携（県市町村と学校の連携）プロジェクトが盛んになり、埼玉県が主催している虹の架け橋（朝田シェフ：本校特別講師）のアシスタントと会場提供を行った。
- ・埼玉県で平成 22 年度から実施している「子ども大学」において、お菓子作りの体験を実施。
- ・地域活動として、さいたまトリエンナーレ 2019 での料理コンテストにおいて会場提供及び教職員、学生のコンテスト参加を行った。また、さいたま市、さいたま市観光協会主催、大宮祭りの一員として、こども向けと地域のパンの製造を担当、そして、地域のマンションの自治会と子ども会から委託を受け「こども料理教室」を実施した。



## ②教職員研修

新入職者研修 3月実施  
教職員研修 12, 1, 3月実施  
教務部長研修 年3回実施  
FDC会議研修 年3回  
カウンセリング研修 10月実施  
広報研修 1月, 8月実施  
マネジメント研修 10月実施  
FDリーダー研修 6月実施  
滋慶教育科学学会 12月実施  
国家資格試験対策勉強会 11月実施  
学内広報研修 年8回実施

## ③総務・法務・リスクマネジメント

学費個別相談会・学費返金相談会の実施  
個人情報取り扱い委員会の設置と規程の作成  
避難訓練、防災訓練の実施 (2019年5月)  
健康診断の実施 (学生: 20019年4月 教職員: 2019年7月)

## ④ 式典

入学式 4月12日(金) 両国国技館 入学生 160名  
卒業式 3月19日(金) 学内 卒業生 155名

## ⑤学生活動

- ・ 定期的な大掃除を実施
- ・ 日本最大のケーキショー「ジャパンケーキショー」に学生が出展。
- ・ 業界との連携で「スイーツコレクション」へ学生が参加。

## ⑥海外研修・留学

学科名	研修先	期間	参加人数
パティシエ科	フランス	2/2~2/9	15名
調理師科	イタリア	2/17~2/24	10名

## ⑦国家試験

資格名	対象学科	受験者数	合格者数
製菓衛生師	パティシエ科	42名	39名 (93%)

**⑧同窓会・卒後教育**

- ・卒業生を対象にしたスキルアップセミナーを2月に実施（赤堀製菓と合同）

**⑨学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会**

- ・学校関係者評価委員会 2019年6月28日
- ・教育課程編成委員会 第1回 2019年6月28日  
第2回 2019年10月25日